

科目名称	大学編入実践演習				ビジネス・キャリア	()	オフィス情報	()	
英文科目名称	University Transfer Seminar				グローバル・コミュニケーション	()	医療事務・医療秘書	()	
科目コード	590072	授業形態	演習	単位数	2	ホテル・観光	()	大学編入	(必)
教員氏名	田中 利砂子		年次担当	2年次	前期				
実務経験教員担当	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		アクティブラーニング		<input checked="" type="radio"/> 有・無				
授業概要 及び授業方法	大学の授業では、答えのない問題に自分で取り組むことになる。いろいろな答えを考え、さらにそれとは異なる視点から検討・批判し、より適切な答えを探しながら自律的に学んでいかなければならない。4年制大学への編入学試験では、このような能力（問題解決能力）が備わっているか否かが問われる。そこで、大学編入実践演習では、ブック・トークやブック・レポート作成などの活動を通じ、大学生に必要な問題解決能力を育成する。あわせて日本語コミュニケーションとライティングの能力のさらなる向上も図る。								
関連する科目	文章表現の基礎Ⅰ・Ⅱ、大学編入演習				卒業認定(学習成果)との関連	①, ②, ③, ④			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の説明、第7課 ブック・トーク① 情報を探す 2. 第7課 ブック・トーク① 議論を読む前に 3. 第7課 ブック・トーク① 読んだ新書の内容を説明する、日本語エクササイズ 4. 第8課 ブック・トーク② 「ブック・トークのための主張と根拠の構造メモ」を書く 5. 第8課 ブック・トーク② レジューメを使ってブック・トークをする、日本語エクササイズ 6. 第9課 ブック・トーク③ 「読み直しメモ」の自己チェックをする 7. 第9課 ブック・トーク③ ブック・レポートのアウトラインを作成する、日本語エクササイズ 8. 第9課 ブック・トーク③ レジューメを使ってより詳しいブック・トークをする 9. 第10課 ブック・トーク④ 発表を準備する、日本語エクササイズ 10. 第11課 ブック・トーク④ 発表内容を図解してポスターを作成する 11. 第11課 ブック・トーク⑤ 発表する (1) 12. 第11課 ブック・トーク⑤ 発表する (2) 13. 第12課 ブック・レポート① 情報を引用しながらブック・レポートを書く、日本語エクササイズ 14. 第13課 ブック・レポート② 内容を検討する、日本語エクササイズ 15. 第14課 ブック・レポート③ 表現や形式を点検する、日本語エクササイズ 								
授業時間外の 学 習	<p>【予習】 毎回授業の際に次回の内容に基づいた課題を出す。(2時間程度)</p> <p>【復習】 授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理しておくこと。(2時間程度)</p>								
授 業 の 到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> ① 文献の内容を正しく読み取ることができる。 ② 読み取った情報を客観的に正確に伝えることができる。 ③ 批判的に情報を検討し、目的に合わせて再構成することができる。 ④ 自律的に大学での学びを進め、周囲の学習リソースを探索・活用できる。 								
課題に対する フィードバック	課題のフィードバックは、授業時に適宜行う。				評価方法・基準	積極的な授業態度10点 課題30点 発表30点、最終レポート30点			
テ キ ス ト	大島弥生ほか (2012) 『ピアで学ぶ大学生・留学生の日本語コミュニケーション・プレゼンテーションとライティングー』ひつじ書房								
参 考 書	特になし。								
備 考	<p>※大学編入コースの学生を対象とした授業である。</p> <p>※「文章表現の基礎Ⅰ・Ⅱ」および「大学編入演習」の履修を終えていることが本科目履修の条件である。</p>								